記者発表資料

水資源機構

令和８年４月１４日
独立行政法人水資源機構
木津川ダム総合管理所

ダム湖周辺の施設を安全に利用していただくために

～一般利用施設等の安全利用点検の実施～

独立行政法人水資源機構木津川ダム総合管理所では、一般の方々に安全に施設を利用していただくため、ダム周辺を訪れる方の増加が見込まれるゴールデンウィークを前に、青蓮寺ダム湖（青蓮寺湖）及び比奈知ダム湖（ひなち湖）周辺の一般利用施設等の安全点検を実施します。

日　　時：令和８年４月２２日（水）
　　青蓮寺ダム管理所　１３時３０分～１４時３０分
　　比奈知ダム管理所　１５時００分～１６時３０分

点検実施者：名張市、名張警察署、名張消防署、青蓮寺湖ぶどう組合、
　　地区代表者　（以上、参加予定）
　　独立行政法人水資源機構　木津川ダム総合管理所

点検箇所：別添実施計画書のとおり

※取材を希望される方はメールにて事前にお申込みの上、当日１３時２５分までに青蓮寺ダム管理所、１４時５５分までに比奈知ダム管理所にお越しください。
　メール宛先：jwa_kizugawa@water.go.jp
　記載事項　：１．報道機関名、２．お名前、３．連絡先電話番号

発表記者クラブ：　三重県政記者クラブ、名張市政記者クラブ

お問合わせ先　：　木津川ダム総合管理所
青蓮寺ダム管理所　所長　伊藤（いとう）
電　話：０５９５（６３）１２８９（代表）
比奈知ダム管理所　所長　藤田（ふじた）
電　話：０５９５（６８）７１１１（代表）

青蓮寺ダムにおける一般利用施設等の安全利用点検に関する実施計画書

1. 点検を重点的に実施する区域

以下の施設等の安全点検を実施します。

◇堤頂道路

ダム堤頂道路は一般に供用しており、通勤・通学等の生活道路としても利用されています。

◇A地区・左岸公園

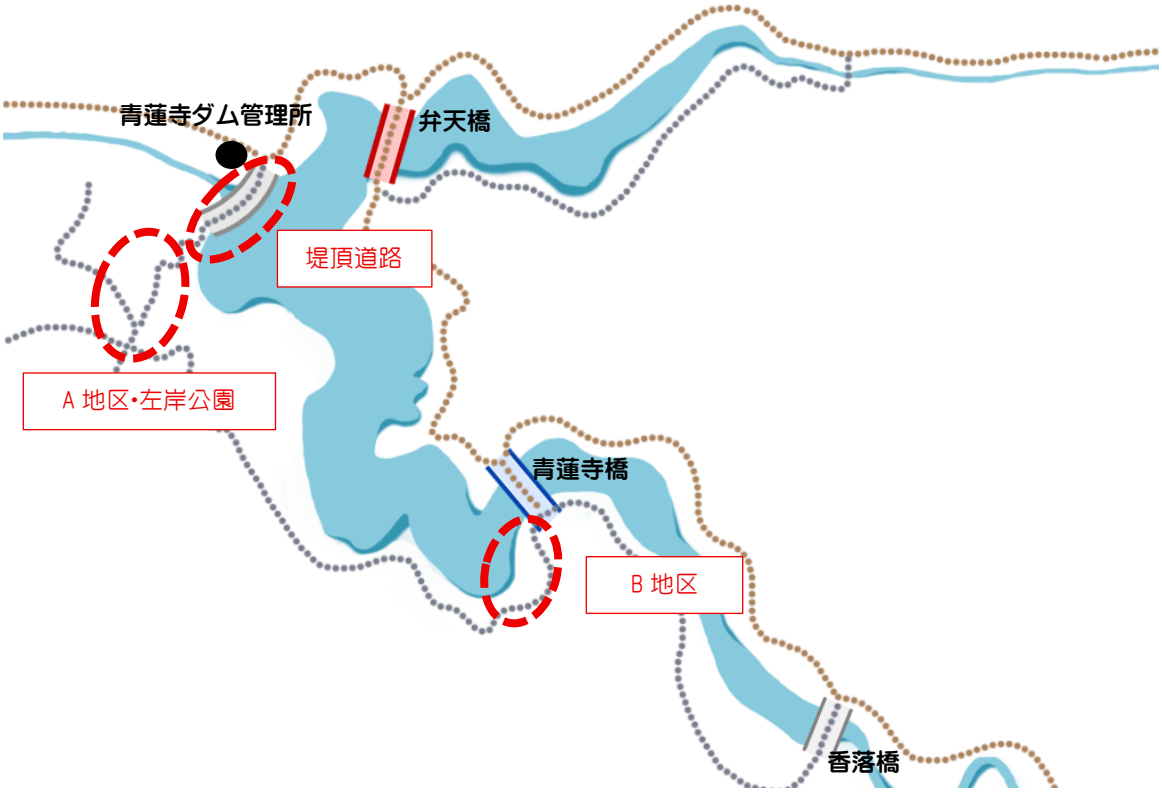
A地区・左岸公園は、青蓮寺ダムが一望できる展望台があり、散策などで一般者が訪れています。

◇B地区

B地区は、湖面と接している場所であり、釣り、散策などを目的として利用されています。

【点検ルート】　徒歩　徒歩　車で移動　車で移動

管理所→堤頂道路→A地区・左岸公園→B地区→管理所



点検箇所図

2. 点検実施者

◇利用者代表（予定）

・名張市、名張市警察、名張消防署、

・青蓮寺湖ぶどう組合

◇ダム管理者

・独立行政法人水資源機構　木津川ダム総合管理所

3. 点検の方法

・一般の方が施設を利用される上で、危険または支障の有無について、目視または触検により実施します。

・特に、子供や高齢者などの立場・目線から点検を行います。

（参考）過年の点検実施状況

4. 実施時期

令和８年４月２２日（水）　１３時３０分～１４時３０分（小雨決行）

比奈知（ひなち）ダムにおける一般利用施設等の安全利用点検に関する実施計画書

１．点検を重点的に実施する区域

以下の施設等の安全点検を実施します。

①ダム左岸広場　②ダム天端　③ダム展望広場（右岸）

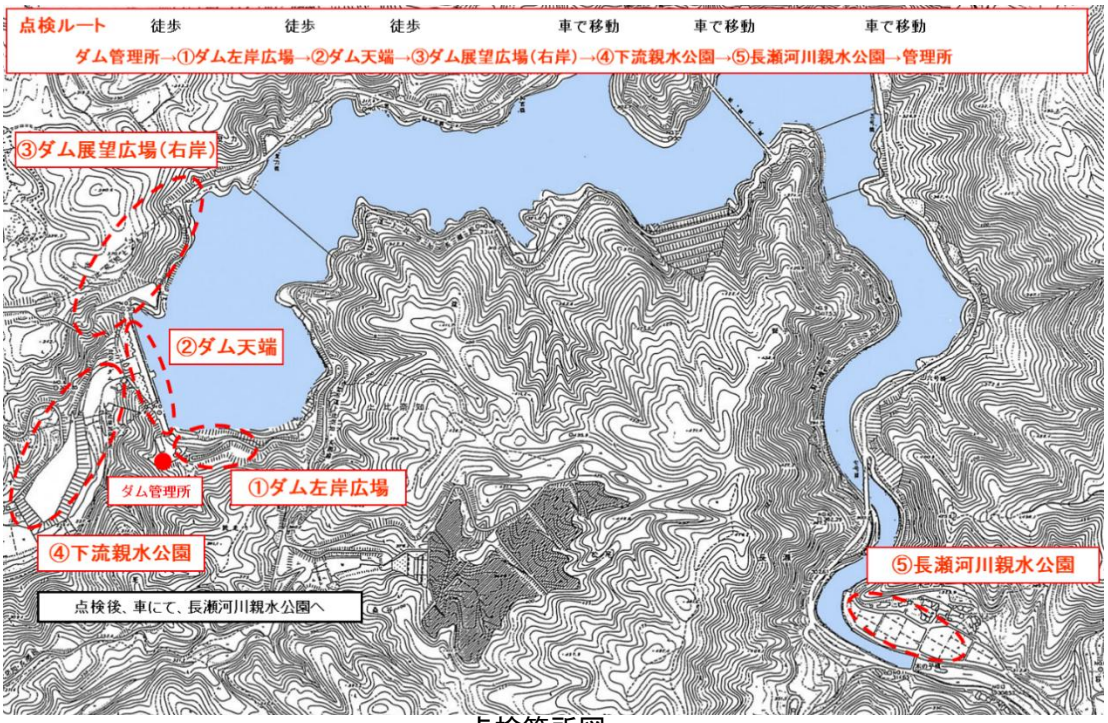
比奈知ダムの玄関ともいえる場所で、一般者が多く訪れます。ダムの見学、ベンチや芝生を休息施設として利用されています。

④下流親水公園

せせらぎ水路周辺の散策、水遊びなどを目的として利用されています。また、春先には、小学校の遠足（ダム見学）時の昼食をとる場所としても利用されています。

⑤長瀬河川親水公園

直接湖面と接している場所です。そのため、釣り、散策、水遊びなどを目的として利用されています。



点検箇所図

２．点検実施者

◇利用者代表（予定）

名張市、名張市警察署、名張市消防署、地区代表者

◇ダム管理者

独立行政法人水資源機構　木津川ダム総合管理所

３．点検方法

・一般の方が施設を利用される上で、危険または支障の有無について、目視または触検により実施します。

・特に、子供や高齢者などの立場・目線から点検を行います。

４．実施時期

令和８年４月２２日（水）　１５時００分～１６時３０分

（小雨決行）

（参考）昨年の点検実施状況

（参考資料）

青蓮寺ダムの概要

■ダムの諸元

ダム型式　：　アーチ式コンクリートダム
堤 体 積　：　約175千m^3
堤　　高　：　82.0m
堤 頂 長　：　275.0m
湛水面積　：　1.04km^2
流域面積　：　100km^2
管理開始　：　昭和45年7月

■ダムの目的

1. 洪水調節
　貯水池に洪水を貯留することにより、下流河川での水位上昇を抑え、下流沿川地域の洪水被害を軽減する。

2. 不特定かんがい等
　名張地区の既得用水および木津川沿岸の既得用水所要量を補給するとともに、河川管理上必要な流量を確保する。

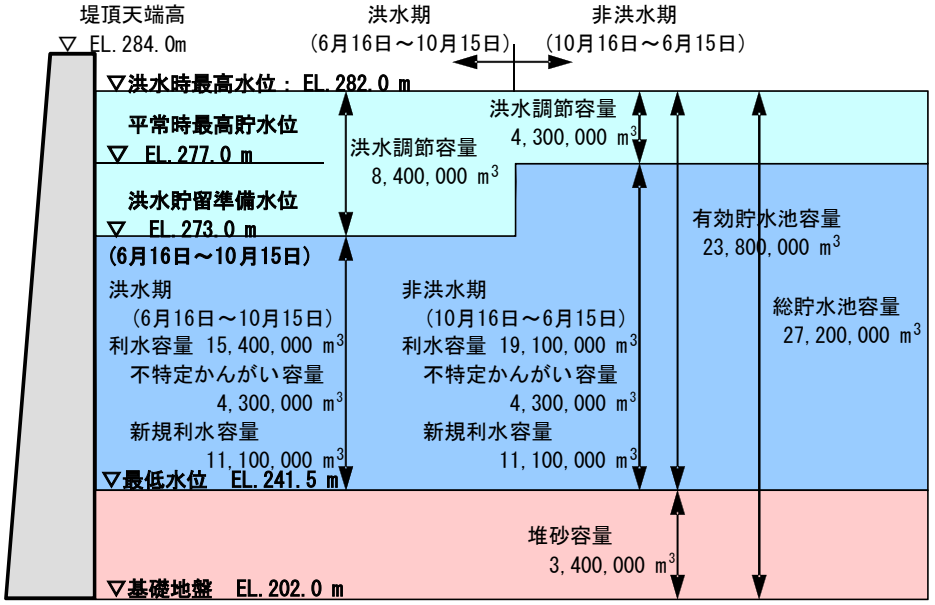
3. 水道用水
　阪神地区の水道用水として、2.3m3/s、名張市の水道用水として、0.19m3/sを供給する。

4. 特定かんがい
　青蓮寺用水として、最大1.60m3/sを取水可能とする。

5. 発電
　中部電力が管理する青蓮寺発電所※で、最大出力2,000kWの発電を行う。(最大使用水量3.9m3/s)

※ 平成25年4月に三重県企業庁から中部電力に譲渡された。

■貯水池容量配分図



（参考資料）

比奈知ダムの概要

■ダムの諸元

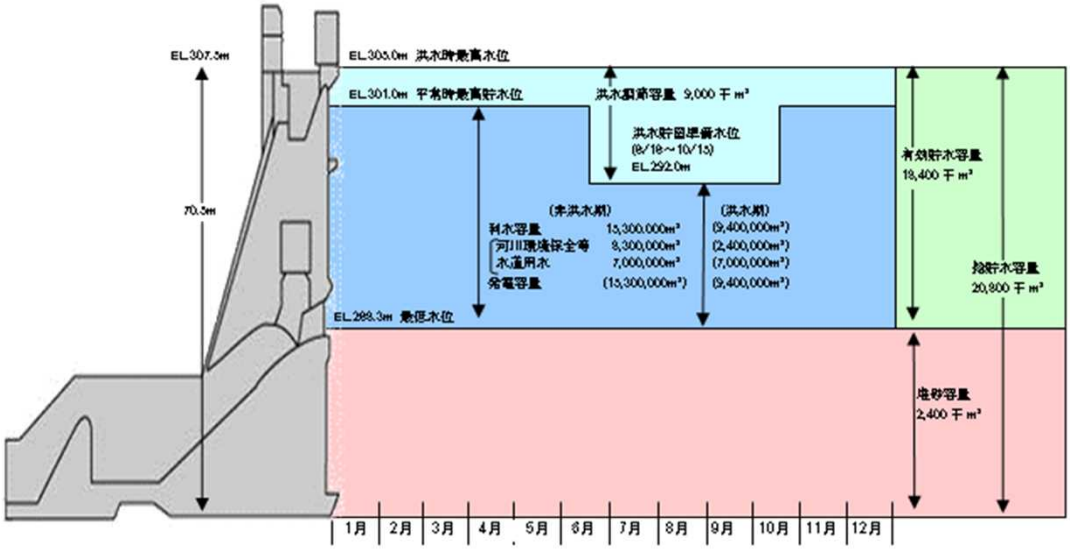
ダム型式　：　重力式コンクリートダム
堤 体 積　：　約426千m^3
堤　　高　：　70.5m
堤 頂 長　：　355.0m
湛水面積　：　0.82km^2
流域面積　：　75.5km^2
管理開始　：　平成11年4月

■ダムの目的

1. 洪水調節
　名張川及び淀川治水の一環として、ダム地点における計画高水流量1,300m3/sのうち700m3/sをダムに貯留し、600m3/sをダムから放流する。

2. 流水の正常な機能の維持
　名張川の既得用水の補給等、流水の正常な機能の維持を図る。

3. 水道用水
　名張市に最大0.3m3/s、京都府に最大0.6m3/s、奈良市に最大0.6m3/sを供給する。

4. 発電
　ダムから放流される水（最大使用水量3.7m3/s）を利用し、最大出力1,800kWの発電を行う。

■貯水池容量配分図